

NPO法人「県海外教育支援機構」

韓国と交流続け外務大臣表彰

大分市

【大分】韓国での日本語教育や交流事業を続けてきたNPO法人「県海外教育支援機構」（大分市）が、活動を評価されて本年度の外務大臣表彰を受けた。やってきてよかった。日本と韓国から、国際理解と友好の輪を広げていきたい」と喜びを語った。

同機構は2007年、大分青年会議所のOBらが設立。10年にNPO法人となった。

09年から、韓国・済州島などで高校生対象の日本語スピーチコンテストを開催。優秀な成績を収めた



外務大臣表彰を受けた県海外教育支援機構の三宮康司理事長＝大分市都町

生徒を大分に招き、高校や大学への訪問やホームステイで交流を促進してきた。

政権が代わるたびに日韓関係も揺れ動き、継続して

いくのは大変だったという。三宮康司理事長(52)は「どんな状況でもスタンスは変えず、地道に続けてきた活動が実った」。今後、アジア各国に取り組みを広げることを目指す。

外務大臣表彰は、国際関係の分野で活躍し、友好関係の増進に貢献した個人や団体をたたえる。昨年度は186個人と59団体が選ばれた。